

第3回第二中学校区地元代表者協議会 会議録

1 日 時 令和5年6月16日（金）18時30分～19時20分

2 場 所 西部コミュニティセンター 大会議室

3 出席者 (1) 委員 21名

(2) 事務局 教育指導部長 山口 玲子

教育総務課長 石黒 龍実

学校教育課長 植木 修

学校教育課 適正規模・適正配置推進主幹 森谷 純

学校教育課 適正規模・適正配置推進室長 柴倉 和典

学校教育課 主事 渡邊 亮

学校教育課 学校教育専門員 尾形 敏行

4 内 容

(1) 開会

(2) あいさつ (会長)

(3) 協議

①会議録の承認について

②統合のあり方に関する意見について

③意見書の取りまとめについて

(4) 次回会議の開催について

(5) 閉会

(3) 協議について

(会 長) 初めに「会議録の承認について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 以上の説明について、質問はいかがか。

《 質問なし 》

(会 長) 次に、「統合のあり方に関する意見について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 今ご説明いただいた第1回目と第2回目の協議内容、それと議事録を見ていただいて、何か皆様からご意見やご質問等あれば、お出しいただきたいと思います。

(委 員) 統合するということで、統合前後、特に統合後は非常に統合に伴う事務的な仕事量等も増えると思いますが、特に学校で事務的な補強の配置、あるいは予算的な措置など、できれば統合することによって、少しでも余裕を持って教育がなされるというふうなふうに思いますので、そういう人的な配慮や予算的な配慮についているのかどうかということが1点です。それから2点目は、二つの学校が合わさるということで、部活動に所属する人数とか、ある程度は予想がつくとは思いますが、統合後どのようになっていくのかということと、こういう機会

に、できればその社会の人材を活用して、先生方の働き方や仕事が少し緩和されるようにということで、社会教育への移管っていうのが、上手になされれば、良い機会だなと思いますので、その点についてどのようになっているか教えてください。

(会 長) 事務局、お願いします

(事務局) 統合後も確かにおっしゃるように、学校として事務的な仕事も増えるだろうなというふうに考えております。これまで統合してきた学校ですと、例えばスクールバスの発着に関わって、子どもたちの帰る時刻ですとか、例えば帰る場所が日によって違ったりとか、曜日によって違ったり、小学校ですと、この日は学童に行きたいとか、この日はお家に帰るといふこともありまして、そこら辺の調整をするために、市として教育支援員という人材を配置しまして、そういった事務の仕事に当たっていただいています。また、統合したことによって、不安を抱えているような、例えば授業中ですとか、休み時間ですとか、そういったところで配慮が必要な子どもに声をかけてもらったりとか、そういった統合に関わっての業務にも、その教育支援員に当たっていただいています。今回の統合にあたって、そういった人材を配置しながら、増えていく事務的な仕事も含めて、当たっていただけるようにしていきたいなというふうに思います。ただ、予算というところですけども、今回の仮称南西中学校については、校舎が新しくなるということで、校舎が新しくなることに伴って、必要な備品等も合わせて購入をしていきたいと思っておりますので、そういったところについては、不足のないように準備をしていきたいと思っております。

それから部活のことについてですが、二中と三中が統合すると、割と規模の大きな部活も出てくるだろうなというふうには思っています。子どもたちについては、事前の交流事業の中で、部活単位での交流事業をできるようにしていきたいとは思っています。その交流をする中で、例えば各学校だからこそ、積極的に活動できていたことがあると思いますが、そのような点も、部活の中で練習の組み方などをいろいろ変えながら、部活をしていくなんていうことであろうかなというふうに思います。私も実際教員として第二中学校にいて、南原中との統合が控えていたという時期に勤めておりましたが、その時も交流をしながら、仲良くなりつつも、実際に統合した時のローテーションというか、そういうものも考えながら、うまく練習を組んでいたなというふうに思っています。また、社会の人材活用というお話もありましたが、ちょうど今、国から休日の部活動の地域移行という方針も出されております。市としても、部活動の休日の地域移行について、まさに検討を始めようとしているところでもあります。そういった地域の方に、まずは休日というところからご支援をいただいたり、また平日も例えば部によっては、外部コーチというか、そういった方に入っているような部活動もありますので、そういった先生方の働き方改革という面もありますが、子どもたちがいろんな大人の方に関わっていただくことで、いろんな視点や視野が広がったりですとか、いろんな方に支えていただいている有難みを知

るですとか、そういった子どもたちにとって良い面もたくさんありますので、そういったところも進めていきたいというふうには思っていたところでした。

(会 長) 他にご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

(委 員) この協議会の会議は何回ぐらい予定されているのでしょうか。また、1回目から今日の3回目の会議まで参加していますが、市で元々決まったことを崩さずにやっていこうというのが非常に強く見える。歩み寄る意見というのがあまりなかったのではないのかなというふうに思っています。市の職員の方もある程度アリバイづくりをされているのかなと思った。これをやったから、この学校が統合できるという考えがすごく見える。意見が出ても、それについて考えてみまじょうかというような歩み寄りがなかったというような感じがした。これを何回やってもしょうがない。実際に関わる保護者の方だと、もっといろんなことを聞きたいのかなというふうに思いますけども、私たちみたいにかかわらないっていうか、今のところ子どもがいないというような大人ですと、何だいこの会議って非常に疑問に思ったのでこれを何回やるのかなと思って聞いた。そんなにやらなくても、保護者会議をやれば済むのではないかなというふうな思いもありますが、いかがでしょうか。

(会 長) 事務局お願いいたします。

(事務局) 会議の回数は、最初の会議の時も話をいたしました、ご意見として大体出尽くしたところまでということでお話申し上げたので、何回というふうな決め事はしておりません。意見として十分に出たというところであればその時点でほぼ終了というふうに考えていただいて結構です。

また、今ご意見いただいたのに歩み寄りが無いなというふうに言われましたが、例えば、そういうふうに感じられた部分ってというのはどういうところだったのかについて、よろしければ教えていただければというふうに思います。一応、ご質問をいただいた時点で、それにはお答えをさせていただいたというふうなつもりでございましたが、もしそういうふうにお感じになったということがあれば、ぜひ教えていただければと思います。

(委 員) 前回の会議の時にも私話したのですが、こんなに非常事態、災害が頻発している中で体育館にエアコンをつけないと、避難所になった時に避難された方が大変な思いをするのではないのでしょうか。冷暖房完備しないと駄目じゃないですかという話をしたのですが、それは考えておりませんというようなことで、武道館にはつけますが、体育館にはつけないというような。コストが高い、それは当然だと思います。新しいものを作る上において、コストかからない作り方なんてない。コストがかかるからしないということがあって、あれ、おかしいなと思いつながら聞いておったのですが、それがそもそも市の考えだろうというふうに思うわけで、ちょっと検討してみまじょうというふうな話があれば、歩み寄るのかなと思うけども、そこではねられれば、当然、その市の考えをもとに形だけの会議をしているのかなというふうに思ってしまったわけです。それは私の考え違いかもわかりませんが、そういうふうにとらえました。

(事務局) 体育館のエアコンに関するやりとりの中で、そのようにお感じになったということでしたので、本日、教育総務課長がきておりますので、後ほど体育館のエアコンについても一度お話をさせていただきますが、校舎の整備に向けて、現在、実施設計をしている過程にあり、その中で、予算的な制約も当然あり、その範囲の中で可能なものと、できないものを取捨選択していくということが出てくるのはどうしようもないことだと考えています。その部分については、ご了解いただければと思います。ただ、ご指摘をいただいたような防災の観点からあるべきではないかと言ったことについては、どこまで予算的に許してもらえるかといったところが課題になって参ります。できるだけ地域の方々にもお使いいただいて愛される学校になるように進めていきたいと考えておりますので、御意見をシャットアウトしたってということは全くなかったところです。

(事務局) ご指摘いただいたように歩み寄りがないのではないかとのご指摘に関しては、そうお感じになられたとするとしょうがないのかなと思います。私も立場上といえますか、今回は、武道場にはつけさしていただくようには考えておりますけれども、可能であれば、つけられる範囲はもちろん広げたいという思いは同じでございます。ただ、そういったことで優先順位も考えながらということですので、やはりご理解いただきたいということです。今後、またなんていうか、余力があればというふうになりますけれども、そういったことで、必要性っていうのを声は当然いただいているということは十分認識しておりますので、よろしく願います。

(委員) 今のお話は、若干感じていましたけれども、仕方ないかなとは思いつつ、この歩み寄りがないという意味の本質的なところは、じゃあ予算取ってきましようかという気概が感じられない。例えば、この予算が決まっていますからということに対して、どういうアプローチをしてどこから金を持ってくるかというのをお考えになっていますかっていうことだと思えます。というか、その手段があるのではないかとということもあると思えますけれども、せつかく防災というヒントがあるので、防災の方からお金が出ないか、そしたら誰に言ったらいいのかとというところで、そういう予算を折衝するのは教育委員会さんじゃないですか。ですけどもそこを、じゃあ、ないお金を作りましようというところが全然見えない。予算がありますからというのは、お役所的なことになっちゃうですけども、もともと予算がないからどうにかしてその予算を持ってきましようとか、どこどこにかけ合えばどうにかなるとか、政治的に県から持ってくるのか、国から持ってくるのかいろんな方法があると思えますけど、そういうことをやってみますという声が聞きたいわけです。多分。もしくは、そういう方を誰か知りませんかというふうに言われれば、動ける方がいらっしゃると思えます。片方は欲しいと言っています。いや教育委員会は、この範囲でいってというふうな形で聞いていますよというふうにアライバイ作りになっても困るということだと私は理解しています。いくつか本当に必要なものと、これは、将来的にあった方がいいということに関しては、予算に関しても、誰がどういようにどうやってそうするというところも、気概

の部分を見せていただければというふうに思っているということだと思います。地域の方も、例えば皆さんでお金を出すかとか、どうするかというふうな話で、逆に振られてくれば、どうするっていう話になりますけれども、いや、必要最低限ですというふうに言われると、私は、武道場とかそういう精神的に心頭滅却すれ涼しいところになぜ必要なのかというふうに逆に思ったりもします。その辺も含めて、みんなで本当にいいものを作っていきたいというふうに皆さんも思っていると思うので、その辺のところ、腹を割ってお話をしていただければと思います。

(会 長) 今のご意見に対しては、いかがでしょうか

(事務局) 予算については、当然、確保するような努力は、可能な限りではありますけれどもさせていただいているつもりでありますけれども、やはり市全体の中で予算の配分とかそういったものについては調整した上での対応ということでもありますので、こちらのために、例えば、片方を何か削るものがないかとかそういったものも含めていろいろ調整した上で行っております。外部から何かしらの資金を持ってこれられないのかということについては、もしそういう策、アイデアがあるようであれば、いろいろ教えていただければという思いもありますし、市全体の中での調整の中での教育費の中でかけられる範囲の中でまずやっているということではありますが、つけたいという思い、これにつきましては皆様からいただいていることと同じように我々も十分良い施設にしていきたいとの思いは同じでございますので、そのところをご理解いただきたいということをお願いしたいと思っております。

(会 長) ただ、地元の代表者の方たちが集まって、二中学区での意見の取りまとめをしている会議なわけですので、今の内容でいいますと、第1回目、第2回目の協議の主な意見の中での一番上の部分が体育館のコスト面っていうことで表現されているかと思っております。ただいま出していただいたように、防災面、災害があった時ということとは、やはり地元の方が考えていらっしゃることであるのは間違いないことだと思いますので、やはり、その文言を盛り込んでいただいた上で検討していただきたいということが、今回のこの地元代表者協議会での意見として出させていたいただきたいのかなというふうに思います。その辺ちょっと事務局の方で文言の整理をしていただければと思います。

(事務局) ご意見として頂戴しておりますので、今日書き出させていただいた資料の一番最初のコスト面云々というところを、防災の面からのコスト云々ということで、もう少し加えさせていただいて、今日のご意見として加えて整理させていただきたいと思っております。

(会 長) その件についてはよろしいでしょうか。まず、今回、この第1回、第2回の協議で出された意見について、比較的学校に関することが多くなっておりますけれども、やはり今出していただいたように、地元の中学校が1つになるということですので、今出していただいたような防災の面ですとか、他に何かこういったこともあるのではないかなというところを取りまとめできればと思います。皆さんの方からごさい

ませんか。

(委員) 建物とか施設とかではなくて、運営の仕方の方になってきますけども、ある程度の数の子どもたちがいて、クラス数もある程度の数になると思います。基本的に子どもたちの数もそうですけども、先生方の数の確保というところでは、クラスに何人とか決まっているでしょうけども、統合してすぐのところでは、やっぱりいろんな思わぬことも起こる可能性がなきにしもあらずですので、人員の方は少しでも多く先生方に来ていただいて、いろんなケアも含めて、見守りいただきたいなという思いがあります。その辺、うまく人員をある程度集めて進めていただいて、最小人数でやるのではなくて、余裕をもってということはなかなか難しいでしょうけども、予算の面も関係があると思いますけども、人員を確保していただいて、学校運営をしていただきたいなと思います。

(事務局) 今おっしゃっていただいたように、統合直後、様々な心のケアも含めまして、新しい学校づくりですので、学校の伝統がない中、学校文化を作っていくというような作業もありますし、最初におっしゃっていただいたように、事務的な作業量も非常に多くなりますし、様々、本当に人手が欲しいところではあります。今お話しいただいたように、職員の数については法律に基づいて、生徒が何人なら、何クラスなら何人っていうのは、決まっているところですので、そこをどうにかすることはなかなか難しいですが、これまでの統合した学校の例を挙げてみますと、統合の前後で、県からの加配教諭がつくケースがございました。ただ、その時その時で何年間つくっていくのは、固定されたものではないものであったと改めて振り返ったときに思っております。統合前の年度からついて、統合年度の後までついたり、あるいは統合年度のみで終わったりと様々ですが、そういったところでの加配については、教育委員会から県の方にもしっかりと要望していきたいと思います。あとは、専門的な立場のスクールカウンセラーとか、そういった教育の相談にのるような、ケアをできるような専門員的な立場の職員も、やはりしっかりと配置したいと思っております。それと先ほど課長が最初のご質問に対してお答えしたように、県からはその制度までということですので、プラスアルファで市が要望してつけられる職員というのを様々な面で考えていきたい。特にやはり遠いところから通学の手段が変わってくるというところがありますので、そこは一番目に見えて、不安な部分というか、ご心配が多い部分だと思いますので、そこに対しての人的配置ということは、しなければいけないと思っております。

(会長) 人的配置については重要な部分かと思えますし、細かいやり方まではあれかもしれませんが、PTAの組織もどういうふうになっていくかもちょっとよくわかりませんが、PTAで集めている予算というか、その中で、事務補助的というような形も行ったりということも可能かなというような部分もありますし、意見の要望としては、そういう人的なものを厚くして欲しいというような意見をまとめていただければいいのかなというふうに思います。他に何か皆さんの方から、御意見ございませんでしょうか。

それでは、いろいろ1回目、2回目、今回のご意見を出していただきましたけれども、とりあえずは、統合のあり方の意見についてということでは締めさせていただきます。

(会 長) それでは、3番目の「意見書の取りまとめについて」、事務局からお願いします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 意見書の取りまとめという形のやり方になるわけですが、今回、ご意見やご質問等は先ほどまで出していたという形ですので、これを意見書として取りまとめるとして、事務局からあったように、五中では、そのような手順をとったという形でしたので、この二中で行うとすれば、今日の内容等を取りまとめたものを、次回に事務局の方で整理したものをご提示いただいて、それについての修正ですとか、何かないかを確認をして、その辺がまたいろいろあった場合には、会長と副会長の方で確認をするというような手順を踏んで、最終的な形になると思います。正直、もう1回ということが、なかなか皆さんに時間をとっていただくというふうな気持ちもあるのですが、ただ、会とすると、やはり今回の会議の議事録であったりとか、取りまとめたという部分はやはり必要なのかなというふうに思いますので、最終の4回目をさせていただいて、その中で最終的に取りまとめたものを皆さんに確認いただいた上で確定させるといったように、五中学区の地元代表者協議会で行ったような形をとった方がよろしいのではないかなと思っております。皆さんいかがでしょうか。

皆さんの方から反対とかそういったご意見なければ、五中学区で行ったような形で最終的な意見書の取りまとめを進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。それでは、これで協議は終了させていただきます。ありがとうございました。